

# こんにちは 中根さちの ハーフシター



日本共産党 高知県議会 活動報告ニュース 県議会控室 823-9524 高知市丸の内 1-2-20 2018. 2. 4  
 自 宅 892-9324 高知市福井町 1475-3 NO. 547

「ビキニ核被災ノート」  
高知県出版文化賞受賞!!



この本は、ビキニ被災した元マスコロ漁船員32名が政府に国家賠償を求め訴えられたもので、昨年2月に出版されたものです。

ビキニ被災

〔来年度県予算、実質見通し〕  
4700億円 弱程度

1月23日、県は2月県議会に向けて、各会派への事前説明を実施しました。今年度の2月補正予算を含めた実質的な来年度予算は、今年度の当初予算より増の4700億円弱にたどり着いた見込みを示しました。

県内の一人あたりの現金給与総額(平均月額)は、平成20年から28年で、2.8%増の29.4万円となりましたが、全国平均31.6万円よりは、低くなっています。人材育成、と産業振興の強化への施策、正規雇用へのきりかえなどが、求められる状況です。

労災不適用決定に、  
審査請求を行う!!

被災船員11名が、この労災の適用を求めてきました。ところが、全国健康保険協会(東京)は、労災不適用の決定を出しました。決定を不服として、29日、厚労省関東信越厚生局に審査請求書を手渡し、「被災線量を過剰評価せず、元乗員から直接ききと、実態を理解すべき」と訴えました。厚生局の社会保障審査官の判断が未出られますが、判断が出ない場合は、訴訟をおこなうとのこと。被災後、60年たった国の姿勢は、遅く、本意にはおさまらないと思いませんか? 救済の一歩に結びつけたいと、せがんでいます。

ソーシマツリから  
高知県の学校給食について考える!

学校給食は「共食」  
 食育は大切、地域の子ども食堂、学校でボランティアによる朝食会開催など、さまざまな取り組みが注目をあつめています。では学校給食はどうなっているのか、全県調査を行ったサーベイをもとにした今回は、改めて、地産地消、食の安全に結びつけた学校給食が大切だ、という思いを強くしました。大規模のサーベイ方式では、地元産業者も参入しずらい、実態もあつかわ

てくてく歩記 (544)

わたしの  
右の写真は、今年50周年を迎えた退職婦人教員の会、退職教員の新年会です。女性の地位の向上、産休・育休の制度が子や子どもたちのすなわち成長と、戦場に教え子を送らぬ、とかはわがきた方々の50年を、本意に誇らしく感じられるひとときです。

